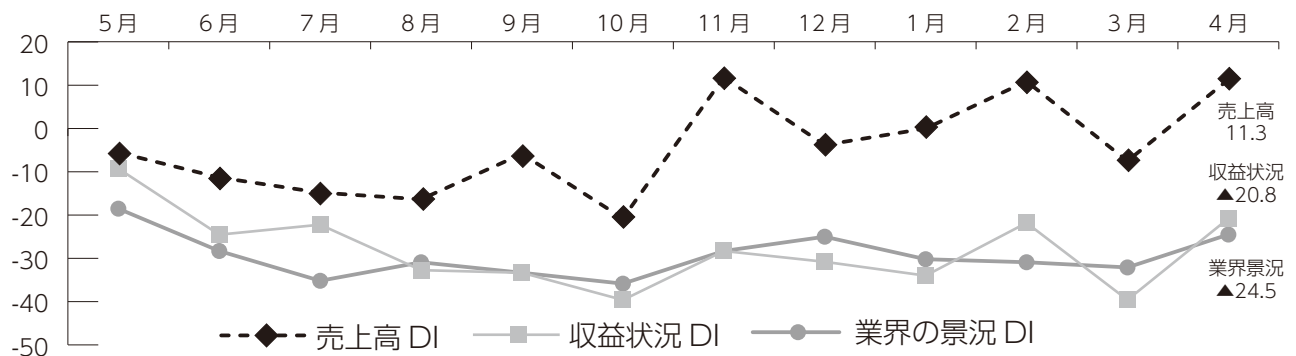


## 売上高は回復するも、収益状況は悪化が続く

### 概況

再開した春のイベントや県による宿泊キャンペーン等の需要喚起策で客足が戻りつつある商店街・温泉旅館では売上の回復がみられた。一方、製造業や建設業では資材の高騰及び供給の不安定さに懸念を抱く。また、業種を問わず、価格転嫁の遅れが収益回復の足かせとなっている。

### 主要DIの推移（全体）



### 景況天気図（前年同月比）

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
全業種平均	☀️	☁️	☀️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️
製造業	食料品	☀️	☀️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️
	繊維製品	☀️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️
	窯業・土石	☁️	☀️	☀️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️
	機械・金属	☁️	☁️	☀️	☀️	☁️	☁️	☁️	☁️
	その他	☀️	☁️	☀️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️
非製造業	卸売業	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️
	小売業	☀️	☁️	☀️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️
	商店街	☀️	☁️	☀️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️
	サービス業	☀️	—	☀️	☁️	☀️	☁️	☁️	☀️
	建設業	☁️	—	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️
	運輸業	☁️	—	☀️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️



天気図は、各景況項目について調査月と前年同月を比較して、DI値を基に判断したものです。  
DI値 = (増加・好転) - (減少・悪化) ÷ 回答数

## コメント掲示板

### 《製造業》

<b>食 料 品</b>	<p><b>[パン]</b> コロナ慣れの影響もあってか客足は戻り売上高は増加した。しかし、原材料の値上がりを受け収益状況はそれほど良くなかった。</p> <p><b>[菓子]</b> 売上高は増加しているが、原材料及び燃料費の値上がりにより収益状況は悪化。</p> <p><b>[めん類]</b> 4月も小麦粉の値上げが発表され、3期連続の引上げとなる。そば粉も値上げが検討されており、極めて厳しい状況にある。</p>
<b>織 維 製 品</b>	<p><b>[織物]</b> 婦人服地は、例年であれば繁忙期であるが、今年は問い合わせのみで受注が遅れている。和装の夏物に関しては、祭等のイベント再開を期待してか昨年よりは若干上向く。</p> <p><b>[刺繍]</b> 売上高は変わっていない中、生産コストの上昇に対し転嫁が進まず収益状況は悪化した。</p>
<b>窯業・土石</b>	<p><b>[生コンクリート]</b> 生コンの出荷量は、公共工事割合が高い山間部は低調であったが、使用量の多い県央東毛地域が好調で売上高は増加した。</p> <p><b>[碎石]</b> 年度始めのため、公共・民間工事とも受注が低調で売上高は減少した。また、原材料価格の高騰により収益状況は悪化。資金繰り・景況感も悪化している。</p>
<b>機械・金属</b>	<p><b>[自動車関連]</b> SUBARUではエンジンの不具合による生産・出荷停止、ホンダでは中国のロックダウンにより部品調達に支障をきたし減産となった。この影響で、売上高は減少し景況感も悪化した。</p>
<b>そ の 他</b>	<p><b>[紙製品]</b> 段ボールや関連資材が値上げとなる中、価格転嫁は思うように進まず収益状況は悪化した。一方、値上げ前の駆け込み需要により売上高は増加した。</p> <p><b>[ゴム製品]</b> 自動車関連の受注が依然として低調に推移。</p>

### 《非製造業》

<b>卸 売 業</b>	<p><b>[各種商品（高崎市）]</b> 徹底したコロナ対策を講じて2日間にわたるイベントを3年ぶりに開催した。両日で7,000人の来場を記録。</p> <p><b>[再生資源]</b> 鉄屑の発生量が少なく、供給不足となっており市況は堅調に推移している。古紙も集荷量は伸びず。また、輸出市況は下落基調であるものの、円安の影響で価格は横ばいで推移している。</p>
<b>小 売 業</b>	<p><b>[中古自動車オークション]</b> 例年は3月から4月中旬までが繁忙期となるが、今年は繁忙感がみられない。また、出品車両が不足しており深刻な状況にある。</p> <p><b>[生花]</b> イベント等は再開され始めているが、花の需要は回復していない。母の日を前に花材・資材が高騰しており、深刻なダメージを受けている。</p> <p><b>[石油]</b> 売上高・販売価格ともに増加しているが、収益状況はやや悪化している。燃料油価格の高騰を抑制するため、政府による燃料油元売への補助金支給は9月末日まで適用されることとなった。</p>
<b>商 店 街</b>	<p><b>[高崎市]</b> 賑わいを取り戻し売上高は増加した。また、仕入価格の上昇に伴い販売価格も上昇傾向にある。一部商品の不安定な入荷状況を懸念。</p> <p><b>[前橋市]</b> 若者を中心に飲食を目的とした人出が増加しているように感じる。</p>
<b>サービ 業</b>	<p><b>[四万温泉]</b> 愛郷ぐんまキャンペーンを利用した歓送迎会の開催等もあり、売上高は増加・収益状況は好転した。外出自粛要請が発出されていない影響もあり、大型連休の前半は入込みが好調でほぼ満室となった。また、四万地域の旅館全体で24名の新卒者を採用した。</p> <p><b>[建築設計]</b> ロシアのウクライナ侵攻の影響で、資材価格の上昇・品不足がさらに進行。建設コストの上昇や工期の遅延など、建築工事への影響を懸念している。</p>
<b>建 設 業</b>	<p><b>[建設]</b> 公共工事量は大幅に減少しているが、新設住宅着工数は増加しており民間工事量は回復傾向にある。群馬県では、公共工事の積算に用いる資材及び燃料等の基礎単価の改定が行われた。</p> <p><b>[鉄骨工事]</b> 鋼材の高騰に加え、副資材や運賃等も上昇しているが、転嫁が進んでいない。一部大手ゼネコンでは転嫁に理解を示す動きがみられた。</p>
<b>運 輸 業</b>	<p><b>[一般貨物運送]</b> 政府の補助により燃料価格は若干下がるも、依然として高値で推移しており厳しい状況が続く。一部荷主はサーチャージの導入や運賃の値上げ交渉を受け入れている。また、トラックの納期遅れが発生しており、納車まで1年程度かかる状況。</p>

※本調査は、情報連絡員54人の報告を取りまとめ、その概要を示したものです。